



ライフプランナー
相続診断士

土屋 敬 (つちや たかし)

山形生まれ。退職金の活用や老後資金の準備、マイホームの購入・改築時の資金計画、相続対策等、年間200世帯以上のライフプランニングを行なっている。好きなものは「ビール」と「美味しい食べ物」。ファイナンシャルプランナー、トータル・ライフ・コンサルタント、住宅ローンアドバイザー等。2016 MDRT 成績資格会員(11~)。



今月は **数字で見るセカンドライフ**
2173 万円

老後の生活を心配している人は約9割! 幸せな老後のために、あなたはいくら必要ですか?

先日、会社の仲間とランチをした際に、「80歳になったら何をしたいか?」という話になりました。みなさんは、80歳になったら、何をしたいですか? 80歳になった自分を想像したことがありますか? 平均寿命が男女ともに80歳を超えたとは言え(※1)、自分の老後は想像しづらいものですね。老後=不安というイメージが先行して、目を背けたいという方も多いのではないのでしょうか。

金融広報中央委員会が毎年調査をしている「家計の金融行動に関する世論調査」(※2)によると、老後の生活について「心配である」と回答した人は、全体の約9割(86.5%)。老後の生活を心配する理由としては、「年金や保険が十分ではないから」(72.5%)が一番多く、「十分な金融資産がないから」(69.5%)、「現在の生活にゆとりがなく、老後に備えて準備(貯蓄など)していないから」(41.4%)などが続きます。そして、年金が支給される年齢までに最低でも準備しておくべきと考える金融

資産残高は、平均で2173万円。老後資金として2000万円以上の準備が必要だと感じているけれど、今の生活にゆとりがなく、準備がなかなか進まないという現状が見えてきます。

人は「短期的には悲観的に物事を捉えて、長期的には楽観的に考える」傾向があるそうです。「今の生活がとにかく大変、ここさえ乗り越えれば老後はなんとかなる!」と思っている方、いらっしゃいませんか? 確かにそのほうが精神的に楽なのですが(笑)、それでは老後への不安はいつまでたっても消えません。かつては子どもが成人した後に、老後資金の準備を始めても間に合うと思われていましたが、現在は教育資金や住宅ローン、日々の生活費のやりくりなどと同時に老後資金準備を始める時代になっています。老後への備えを始める際に、私たちの一番の味方になってくれるのは「時間」です。ライフプランニングを通して、今からできる自分に合った老後資金準備の方法を見つけていただきたいと思います。

※1 厚生労働省「平成26年簡易生命表」 ※2 金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査[二人以上世帯調査](平成27年)」

■お問い合わせ先

ソニー生命保険株式会社

仙台ライフプランナーセンター第2支社 第3営業所
ライフプランナー 相続診断士 **土屋 敬** (つちや たかし)
〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-2-3 仙台MTビル15F
募集文書登録 SL16-3630-0071

☎022-296-5472 (平日9:00~17:30)

takashi_tsuchiya@sonylife.co.jp 携帯電話 090-9538-2463

*ご記入いただきましたお名前・ご生年月日・ご連絡先につきましては、セミナーご出席の確認ならびにソニー生命およびグループ各社の各種商品の情報提供、サービス等のご案内にのみ利用させていただきます。

土屋敬

検索

<http://www.doyakei.com>

無料

りらく読者限定

**ライフプラン
個別相談実施中**

生命保険の相談だけでなく、将来の生活設計や老後資金準備、退職金の活用、住宅ローン、相続・贈与、資産運用などについてもお気軽にご相談ください。

■申込方法(完全予約制) / 電話・Eメールにて(左記参照)。名前・連絡先・希望日時・主な相談内容をご連絡ください。